Fate/EXTRA CCC

フェイト/エクストラCCC

1

原作 TYPE-MOON／マーベラス

漫画 ろび～な

Kadokawa Comics A

コトコト…

……！

美味しい

これくらいしか出来ませんが

せめてものお礼をさせてください

そんなお礼だなんて

大げさだなあ

わたし……そんなにそんなにおかしな顔をしていましたか？

……でも 大げさじゃないんですよ わたしにとってはそれぐらいの その……

すごいことだったんです

白野（はくの）さん…

Fate EXTRA CCC

フェイト/エクストラCCC

Garden 1 胡蝶の夢

先輩と呼んでいいですか？

漫画 ろび～な

原作 TYPE-MOON／マーベラス

Fate / EXTRA CCC ◆1

CONTENTS

garden 1 ✻ 胡蝶の夢 001

garden 2 ✻ 覚醒 027

garden 3 ✻ 月の裏側 055

garden 4 ✻ 月海原学園生徒会、発足! 071

garden 5 ✻ サクラ迷宮 079

garden 6 ✻ 月の女王 103

garden 7 ✻ 乙女の秘密 123

garden 8 ✻ 禁猟乙女領域 143

garden 9 ✻ 月の支配者 163

extra garden ✻ 月海原学園生徒会、前夜! 183

ヒュウウウ..
ねえ
君
そこの
君

そこから何が
見えるんだい？

そこに立っていると
危ないよ

いや
よくわからないけど

何だか
危ない気がするんだ

えっ

ちょっと待って

まいったな

君が何を話しているのか聴こえないんだ

もしかして迷子なのかい？

君このへんの人じゃないみたいだし

誰か君を知っている人は…

えっ？

うわあああっ!!!

ビュッ

ひゃあああっ

あれ……

もう
白野君

後ろで大声出して
驚いたじゃない

遠坂 凛

ごめん 遠坂

何？
まだ
寝ぼけてるの？
立ったまま
寝られるなんて
器用ね

最近 変な夢を
よく見るんだ

全部似たような
夢なんだけど
いつも決まって
赤い服を着た
女の子が出てくるんだ

今日は思い切って
その子に声をかけて
みたんだけど

なぜか
斬りつけられた

何それ？

……

ふーん
白野君って
モテるのね

うしろ

え!?

ガチャッ

……では
放課後に
迎えに上がります

もう……ちゃんと
授業は受けますよ
ユリウス兄さん

おはようございます
岸波(きしなみ)さん

レオナルド・ビスタリオ・ハーウェイ

つい最近
この学園に
転入してきた少年

とある有名財閥の
御曹司にして
飛び級の天才児

初めの頃は
あまりの育ちの違い
能力の違いに
怖気づいていた
自分だったが

今ではこのように
何気ない世間話を
する仲になっていた

おはよう レオ

あの陰気な兄ちゃん
よっぽど
過保護なんだぜ
まだ見送ってるぜ

……とシンジ

これだから
御曹司は

兄さんは
心配性なんですよ

そうだ
今度 学校を抜け出して
外でランチしませんか？

ボク テイクアウトの
食事をしてみたくて

そんなんだから
心配するんだよ

ブルジョワめ！

間桐（まとう）シンジ

アジア圏の
ゲーム上位ランカー

自意識過剰で
エリート思考を持つ
困った人物だ

だがその大口に恥じない
成績と実力を持っている

この
月海原（つきみはら）学園で
何かと目立つふたりと俺は
なぜかつるんでいる

俺は
ただの凡人なのに

2-A

そういえばシンジ
「Piece Journal」を
見ましたよ

ザワ
ザワ

シンジは相変わらず
ネットで無双して
いるようですね

…うわっ
何かいっぱい
スレ立ってる…

あの掲示板はひと握りの
ゲームチャンプだけが
発言し 信者を得るべき
場所……

これ 全部
シンジの話題？

もちろん

すごいな
シンジは

すべての叩きに
すべて煽りで
返している…

ラーん

フフ
そういうことは

現在バトルスコア7800万
ワールドランキングNo.2の
この僕のための 天才の城なのさ

ランキング1位の人を
倒してから
言ってくださいね

くぬぬっ…

先週また
ハイスコアを
出したからね

まったく
凡人たちの
嫉妬にも困るよ

痛いところを
突くじゃないか……

欧州のゲームチャンプ
トータルのスコア
No.1のアイツか…

「じな子」……

なんだろうコレ
HN(ハンドルネーム)？

確かに僕は一度も
アイツに勝ててない

だけどな

アイツはただの凡人だよ
プレイ時間が膨大なだけの
いわゆる廃人チートプレイヤーだ

純粋なテクニックと判断力
インスピレーションなら
僕の圧勝さ

見てろよ 白野 レオ
来週には「じな子」を蹴って
僕が晴れて
No.1プレイヤーだ

では
優勝の暁には
ボクからも
お祝いをしましょう

本当だな？
聞いたか？ 白野

来週はレオの豪邸で
シンジOH祭りだ！
楽しみにしておけよ！

あれ
何だ このスレッド

聖杯戦争……？

そんなゲーム
前からあったっけ？

あれ 何だか
心に引っかかる
タイトルだ

なんで夢に出てきた
あの子が
思い浮かぶんだろう

ああ それは昨日のひとつ

いざ競い合え 魔術師たちよ。
聖杯は勝ち残った最後のひとりの
いかなる望みをも叶えるだろう――

なんて 手垢のついた
触れ込みでさ
どこの運営かもわからないし
そもそも参加方法もわからない

あっ 岸波君
授業終わったら
この資料
電子工学科に
返してきてー

胡散臭いったらないよねぇ
管理人も放置しているし
いったい何なんだって話

でも興味は湧きますね
いかなる願いも叶える
――ですか

岸波さんは
どんな願いを
叶えたいですか？

そう言われても いきなりには思いつかない

願い事か……

欲しいものは山ほどあるけれど
それはあくまで
自分が努力すれは手に入るもの だ

「どんな願いも
という言葉には
転じて
自分では
どうやっても
手に入らないもの
というニュアンスが感じられる

そんな大それた「願い」は
ちょっと
今の自分には思いつかない

ホロッ

ホロッ

えっと
確か部屋は
この先だったよな

あらっ？

あ
あらあら

あらっ？

ハレ？
ゆうきー☆

ああ
今回も
負けちゃった…
悔しい……

ピロロロロ…

ふぅ……
……

ピロロロロ…

ピロロロロ…

ピロロロロ…

私 困ります……

はあっ……
舌まで
使ってっ……!?

こんなに激しくされたのは
初めてです……
私の胸にそれほどの恨みが
あるのでしょうか……

まるで底なしの黒洞のよう……
いいえ 呼吸に喘ぐ魚のような……

呼吸に…喘ぐ…?

申し訳
ありませんっ

身を挺して
倒れるところを
助けて
くださったのに

不覚です
私の不注意でした
貴方の呼吸を
妨げていたなんて……

い……今の
おっぱいだった…
おっぱいだったよな

よかった
気が付かれたのですね！

……ああ ホッとしました
生きているのでしたら
きちんとお礼ができますもの

お 俺は
大丈夫です

そちらも
怪我はないですか

この人は
尼僧……？
なんで学校に
いるんだろう

ありがとう
可愛い学生さん
お名前を伺っても？

岸波……白野

フフ……優雅な魚みたい
よいお名前をお持ちですのね

私 今日から月海原学園で
教鞭を取らせていただきます
殺生院キアラ と申します

せ
先生？

それではこの先も
どうかよろしく
お願いしますね

このお礼はいずれ
必ず

素敵なマスターさん？

©

こ

何だ
この痣……

何かの
模様みたいだ

さっき
ぶつけたのかな

ハンカチ
巻いておこう

いや
それよりも

さっきの
出来事は
誰にも
見られてないよな…

見られてた
!!

まるで
恋人同士のような
抱擁ですね

生徒にあるまじき獣性……
ボクは白野さんの評価を
改めなくてはいけません

レオ……
そんな目で見るな
今のは！
事故で……

ふふ

僕よりも見られたら
まずい人が
いるようですが…？

教師の方と
不純異性交遊などと
言語道断

考えを改めたほうが
よいでしょう

ハクノさん

ヒラッ

えっ

破廉恥です

ラニ＝Ⅷ

電子工学の権威として
月海原学園に招かれた
研究所育ちの
超が付くエリートである

なぜかいつも俺に
絡んでくる

き 気を付けるよ！
ラニ……

そうだ
君のクラスに
これ返しに行く
途中だった

急ぐね

私の作った資料は授業の役に立ちましたか？

えっ これラニが…？

ああ うん とても わかりやすかったよ

そうですか

あれ？ さっきと形が違う

少し模様が消えてる……

そのうち全部消えるかな…

一日が終わる

キーン コーン

もう こんな時間だ

そういえば さっきの痣はどうなったんだろう

いつもの日常

いつもの光景

下校を始める
生徒たちで
溢れた昇降口で

ふと

違和感を感じて
振り向いた

ひ……

人が倒れてるっ!!

君 大丈夫か？

あっ

……！

ズッ

おかしい
どうしてみんな
彼女に気付かない？

君 聞こえるかい？
ちょっと
体を起こすよ…

ひどい熱だ
早く保健室に
連れて行かないと

う……

はあっ

……
……？

…あ…あなたは…
私が……
見えているんですか？

おかしなことを言って
熱にうかされて
いるのだろうか

とにかく
安心させて
あげよう

ああ
こうやって見えているし
君の体にも触れるよ

はあ。

私……
1年の間桐桜といいます
配置は保健室
管轄は
皆さんの健康管理です

はあ。

あの あなたはどこの
所属の方ですか……？

はあ。

所属？
クラスの
ことかな？

俺は
2・Aの岸波白野

え……一般生徒の
方なんですか……？

生徒会の人たちも
気付かなかった
私を
あなたが……？

そんな……
そんなことって…

どうして……

：可哀そうに
誰にも手を貸してもらえず
肉体的にも精神的にも
辛かったんだ

はぁ。

もう安心だ

とりあえず
保健室に行って
先生に診せよう

立てるかい？

んっ…

はぁ。

あごめんよ
まだキツイか

ぶるっ？

ヒュイ

ごめんなさい

ドキドキ

は恥ずかしいです

でも

あの……もっとお話をしてもいいでしょうか……？

うん

保健室

いくらでも

いいよ

ん……

コクッ

ションションション

いけない

桜の様子は……

いつの間にかうたた寝してたみたいだ

カチャ

あ……えっと
まだ頭痛はしますけど
だいぶ調子は良くなりました
これも先輩のおかげです

助けてくれただけじゃなく
看病までしてくれて
本当にありがとうございました

そんな
看病だなんて

保健の先生も
いなかったし
横で見守って
あげること
くらいしか
できなかったよ

……良かった

熱も下がって
いるようだし
これなら安心だ

あわわ だいじょうぶ
大丈夫ですから 結構です!
むしろ熱暴走しちゃいます……!!

きゃあああ…

しまった…!
こうやって熱を
測るのも
小学生までだな

子供扱いして
嫌がられたかも

話題を変えよう

えっと
そういえば
桜はどうして
あそこで
倒れていたのかな

それが……
自分でもわからなくて

校舎の雰囲気が
いつもと違う気がしたんです

様子を見ようと
廊下を回って……
昇降口のところで
眩暈を覚えてしまって

……あとは先輩の知っている通りです
生徒の皆さんに声をかけても
気付いてもらえなくて

ああ 私は
ここで忘れ去られるんだ
なんて
本気で思っちゃうくらい
心細かった

そんな時です
先輩が声を
かけてくれたのは

うれしかったです……
先輩が
私のこと
見つけてくれたから……

なぜ みんなは
桜を無視していたのだろう
というか
あれは

みんなに桜が見えて
なかったようにも
感じた

今そう疑問に思っても
仕方のないことだけど…

とにかく
大事がなくて
良かったよ

はい
先輩のおかげです
この通り精神的に
元気いっぱいに
なっちゃって
いますから

あの 先輩
ところで

その手は怪我を……？

良かったら
診せてくれませんか

あっ いや これは
怪我じゃないんだ

たぶん

ありがとう
大丈夫だよ

じゃあ 桜
明日も体調が悪かったら
病院行くんだよ

はいっ
先輩！

素直でいい子だったな

痛っ!?

……開こえ……
……を覚ませ 叁……

その眠り……
そなた……
……溶かして……

え……

今の……夢の中の子だ

あの子の声が
初めて聞こえた……

ッ

！
また模様が
消えてる

何だか……
嫌な予感がする

これ……
全部消えたら
どうなるんだよ

制限時間です。

校内に残った
すべての知性体にお知らせします。

残念なお知らせです。
アナタたちが今まで所有していた世界観は
崩壊しました。

アナタたちは売却されました。
インフレによる値崩れです。

アナタたちは〝無価値〟です。

アナタたちは〝無価値〟です。

何だ……
これ……

アナタたちは〝無価値〟です。

ねえ ちょっと
さっきの放送聞いた？
外の様子がおかしいの

様子を見に
校庭に出た男子が
帰ってこなくて……

あ 戻ってきた

外でいったい
何があったんだ？

ハァ

た……助けて

ハァ

ダメだ！
お前は来るな！

お 俺まで……

こんな
リセットの仕方
知らないぞ！

ドカ

ドドドドド

ドドドドド

ドドドドド

下から黒いノイズが溢れてくる

この先は行けない

リセット？何の話だ

逃げるって言ったって

どこへ

桜は…みんなは無事なのか？

上しかない

うわあああああ！

くそっ
何だよ これ
どうなってるんだよ

どラ
イダー！ ライダーは
どこ行ったんだ！

くっそ
白野…お前
ひとりなのか？

シンジ！
今 助ける！

ああ
シンジ！ レオは？
遠坂やラニも
見かけなかったか？

白野……

ハア…？
お前 何まだ
寝ぼけてるんだ？

相変わらず
間抜けすぎだぞ

僕が
アイツらと一緒に
いるわけないだろう！

ましてや
お前なんかの
手を借りるわけ……

……シンジ？

あ――あ ああ あ――

た……た た……！

……

!!

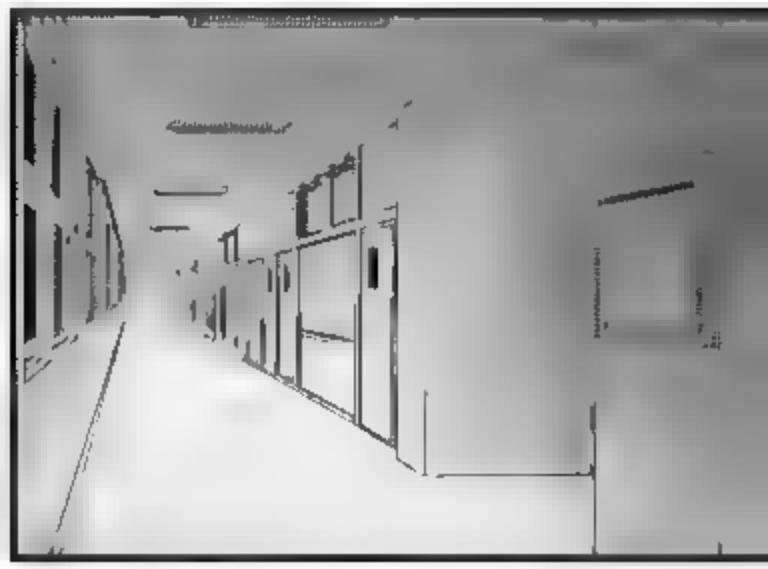
あれは
もう助からない

今から近づいても無意味だ
それはかりか
コレ以上近づけば
自分もあのノイズに侵食される

自分にできることは
シンジを無視して
上を目指すことだけ

無視……

できるわけないだろ！



はっ　そうだよ
そんなもんだよ
トモダチなんて…

っ……く……くく っ——
ああ もう チクショウ！
何やってんの お前

いいからさっさと
逃げてろよ！

お前も
捕まるぞ

くそっ

せっかく
せっかく僕も
思い出したのに……！

聖杯戦争に
戻れると思ったのに！

こんなの話が
違うッ

シン…ジ…

聖杯戦争……！

何だろう この胸のつかえは……！

目の前の異常への恐怖……とは違う
正体のない吐き気
由縁のわからない息苦しさ

だが
喉の渇きは恐怖からではない

この震えが恐怖だというのなら
どうして——

どうして 自分の体はこんなにも熱いのか
心臓は怯えとは真逆の力で強く鼓動を刻んでいる

ハァ…

街も……

全部
黒いノイズに
飲み込まれている……

空も

これ以上
逃げる場所なんて……

うふふ ちっぽけなマスターさん

バカなヒト
せっかく忘れさせてあげていたのに
思い出してしまうんですもの

こんなところまで来るなんて

世界から逃げられると
思ったんですか？

誰だ……

でも許してあげます
アナタは何も気にしなくていい
わたしがあなたを勝たせてあげる

戦うコトも
努力するコトも
傷つくコトもない

だから 何も考えず
このままお人形さんのように眠りなさい

わたしがあなたに聖杯を与えてあげる

諦めろ 諦めれば

諦めれば——

ほら　だから諦めなさい

諦めるの

諦めて

諦めちゃえ

そう それでいいの
大人しく眠りなさい
どうせ

どうせアナタたちはみんな
価値のない生き物なんだから……！

「諦めろ」と繰り返し闇が囁く
だが それはできない
強い鼓動 吐き気の正体が
やっとわかった

ガシャッ

それだ——

これは 怒りだ

ここで目を背けてはいけない
ここで諦めてはいけない
いや 諦めることはできない

たとえ無駄な抵抗だと
世界から逃げることは
できないとわかっていても

まだ血の通った
手足がある以上は

決して……！

君が誰なのか
俺にはわからない……

だけど
そんなに一方的に
俺たちの価値を決められて
納得できるわけがないよ

な――何ですって
だめ そこは……!!

ガシッ

地面に……
ぶつかる……

……

衝撃がない？

いや……

いったい
この落下は
いつまで
続くんだ

選択を
誤った

取り返しの
つかない
ことをした

落下して初めて
自分の愚かさに気付く

ここには
何も
無いんだ……

わあああッ

ねえ
君

そこの
君……

久しぶりだね

こうやって
誰かと話をするのも
遠い昔のことだ……

俺はもう
四肢を動かすのも……

肺を動かすことも
忘れてしまったよ

そこから
何が
見えるんだい？

君は
誰かを
捜しているのかい

諦めるな

奏者よ 手を……！
これ以上はもう進めぬ……！
そなたの力が必要だ！

ナーイ!!

俺は

かつて

聖杯戦争の
参加者だった

なぜ
記憶を失って
ここにいるのか
わからない

だが

——その輝きを知っている
その声を知っている

失われた喉に
衰えた腕に力を入れる

彼女は

ずっと俺を
捜してくれて
いたんだ……!

余の名前を呼べ

奏者（マスター）

来い！
セイバー!!!

然り！
我が剣は原初の情熱にして
剣戟の音は宙巡る星の如く

剣の英霊
そなたのサーヴァントだ！

やっと
そなたに
届いたぞ

聞き惚れよ
しかして讃え
さらに喜べ

余は至高にして
至上の名器――

西暦2030年

人類の技術進歩が
1970年から
凍結された世界

紛争や
バイオハザードなどが
氾濫し
地球の総人口は
かつての3分の2にまで
激減していた

そんな時代に
月の内部に
異星文明の遺産
疑似霊子演算装置
ムーンセル・オートマトンが
発見される

全長三千キロメートルに及ぶ
フォトニック純結晶体

外殻を除く
月そのものが
古代遺物だったのだ

この巨大な演算装置は
自らの意思を持たず
常に進化を続け
太陽系最古から
あらゆる現象を
記録・観察していた

誰が
何のために
造ったのか？

調査が進むにつれ
人類にとって
最重視されるものは
それではなくなった

知られて
しまったのだ

ムーンセル・オートマトンが
ひとつの太陽系に匹敵する
演算規模（リソース）を持ち
あらゆる願いを
叶える力があることを

それは人の手に
余りある
危険なものだった

地上の都市の大半を
支配下に置く西欧財閥は
ムーンセルを封印指定し
全世界の宇宙開発を凍結

ムーンセルの実権を握るまで
地上の人間に
誰ひとりとして
ムーンセルに
到達できないようにした

たとえ
月にロケットを
飛ばしたといえど
物理的な方法では
進入することは
不可能であろう

それほどまでに
ムーンセルの
技術形態は
人の思想とは
次元が違っていた

だが そこにも
抜け道はある

〝魔術師（ウィザード）〟の存在だ

ムーンセルはその内部に
SE、RA、PHと呼ばれる
仮想電脳空間を構築し
地上……地球から多くの
〝魔術師〟を呼び集めていた

魔術師というのは
電子ネットワークに
精神・人格ごと潜入できる
特別なハッカーのことだ

肉体とは魂を固定化する装置である
肉体と魂を別々に知覚できるのなら
その出力先を変更することも
理論上可能ではないか

そんな神秘学的な
アプローチから
端を発した新世代の通信方法

これを可能とするハッカーを
人々は過去のA級ハッカーたちの
称号にかけて"魔術師"と区別した

それは かつて
地上で行われていた
魔術師たちの戦いを
再現・観察するためである

魔術が途絶えた現代において
唯一 魔術理論を継承する
魔術師たちに
"過去の英雄たちを再現した
使い魔"をあてがい
戦わせる

それが
月の聖杯戦争――

自分が生命として
優れている……
最強であることを
証明しなくてはならない

月に到達した魔術師たちは
互いに競い合い
最後に残ったひとりが
ムーンセル中枢に招かれ
その使用権を与えられる

人類の願望機である
聖杯の実権を握る
ただひとつの方法

ムーンセルの深淵に
たどり着けるのは
魔術師だけだったのだ

そう 俺
岸波白野も
その魔術師のひとり…だった…

Garden 3 月の裏側

はずだった

……脳波の正常活動を
確認しました
アルファ波 ベータ波平常
覚醒状態です

ぱい 先輩
この声が聞こえますか？
落ち着いて
ゆっくりまぶたを
開けてください

ここは……

ヒラ
ヒラ

よかった……

保健室 AI
間桐 桜

先輩だけ
他の皆さんより
昏睡時間が長かった
ものですから

アバターの反応は
まだ鈍いでしょうけど
すぐに元の調子に
戻りますよ

もう立ち上がることも
できるはずです

桜の方こそ
もう体の具合は
大丈夫なのか？
熱は？

？ 具合……ですか？
何のことでしょう
熱を出すほどの演算は
していませんが……

昏睡……
さっきまでの
出来事は
夢だったのか

自分が
「何も知らない
一般生徒」として
学園生活を
送っていたこと

学校が
正体不明の闇に
襲われたこと

サーヴァントが
助けに来て
くれたこと…

そうだ

そなたの意識は
何者かによって
切り取られ
あの学園に閉じ込め
られていたのだ

そなたが自我を
取り戻さない限り
あのままずっと
安寧の牢獄にいただろうな

セイバー
その格好は
どうしたんだ？
いつも
赤い衣装
だったのに

うむ　よくわからぬが
ここに来た時にはすでに
この姿になっていたのだ

俺も
制服が違う！

この建物も
校章を見ると
月海原学園の
ようだけど
初めて見る場所だ

ここは
いったい
どこなんだ？

古い情報に
照合するデータが
ありました
この校舎は
月海原学園の
昔の校舎です

でも

座標から推測すると
ここは月の裏側……

ムーンセルの
支配下の外です

月の…裏側……！

賽者よ そなたは
聖杯戦争の途中に
いたはずなのだ
それが突然
余の目の前で
黒い闇に飲まれ
ここまで叩き落とされたのだ
他のマスターや
運営用のNPCまでな

余はそなたを
すくい上げようと
追って来たのだ

本来 行われるはずの
聖杯戦争は
何者かに歪められて
しまいました

しかも 問題は
それだけじゃ
ないんです

先輩
落ち着いて
聞いてください

あのですね？

先輩は聖杯戦争中のこと
少しでも覚えていますか？

……え？

そんなの当たり前……

待て

自分が魔術師（ウィザード）であることは
知っているけど

それ以前のことが
まったく思い出せない！

聖杯戦争に
参加していた……ことは
漠然と思い出せるが
どんな戦いを繰り広げ
どんな相手を
倒してきたのかは
あまりにも曖昧だ

そもそも俺は
何で聖杯戦争なんて
物騒な戦いに
参加したんだろう

あ……
れ……？

やっぱり……
他の皆さんと
同じですね

自分が誰なのかは
覚えているけれど
聖杯戦争中の記憶は
思い出せない……

ここに落ちた
皆さんは
記憶障害に
なっているんです

……もっと力に
なりたいんですけど
もう私には
何の力もありません

皆さん同様
私も記録の検索機能が
ロックされていて……
本当にごめんなさい

こんなこと
あり得ないはず
なのに

情けないことに
余も記憶が覚つかぬのだ
急に目の前から消えた
そなたを追ってきたことは
記憶にあるのだが

肝心なことは
思い出せぬ……

余が持つ
英霊としてのスキルも
いくつか封じられて
しまった

セイバーさんの
このドレスから
強力な呪詛を感じます
これは対サーヴァント用の
拘束具ですね……

先輩の制服が
違うのも
この世界のルールに
上書きされたからと
推測されます

何度試しても
脱ぐことは叶わぬ
忌ま忌ましい服だ

しかし……
これは
まるで……

奏者よ

そなたは
男として
機微が足りぬ
女が衣服を
新調したのだ
こう ひと声
かけるのが
処世術ではないか？

セイバー……
どうしても
感想が聞きたかった
らしいな……

無理矢理
着せられたなんて
ひどいと思ったけど

その姿 まるで……

ウェディング
ドレスみたいだ

……！

ぴゃあああ!!

なんと！
やややはり
そうなのだな
そなたからも
そう見えるのだな

ぴょん
ぴょん

ああ
ああ……

それにしても
セイバーを
拘束するなんて
いったい誰が
こんなひどいことを

ふっ

ﾆﾔｯ

ごめんなさい！
言うの忘れてました

拘束の呪詛は一度発動したら
消えてしまうものだったようで
マスターの権限で解除できるんです

ガッ!!

素晴らしい！

まさか
日覚めてすぐ
女性を
裸にするとは

ボクはミスター岸波の
評価を改めなくては
いけませんね

……映像を切り上げるぞ

ちょ……兄さん
いいところなのに

ミスター岸波
さっそくですが
生徒会室まで
来てください

すみません……
映像の方がオンに
なっていて……

生徒会室からの
通信です

この
声は……

あの 先輩はまだ
目覚めたばかりですし
今は挨拶だけで……

申し訳ありません
その余裕はありません
事態は一刻を争います

それに彼なら
ボクが口わずとも
勝手に歩き回ります

ボクの知っている
岸波白野という人は
いつまでも大人しくしている
性格ではありませんから

……わかった
生徒会室に向かう

あの通信の声どおり
なのは癪だが
目覚めたからには
行動しないと

何もわからない状況だからこそ
一刻も早く現状を把握したい

行こう
セイバー

セイバー…？

？。

……見られた

奏者以外の輩（やから）に
余の裸を見られた……

ええっ！

セイバーにそんな
恥じらいが
あったなんて……

馬鹿者!!

セイバー
結局その服は
着替えないのか？

これか？

そなたに
花嫁衣裳のようだと
言われたのが
妙にうれしくてな

慣れれば
悪くないぞ

前の服より
目のやり場に
困る……

さあ

ここが生徒会室だ

いったい何が
起こっているのか
説明してもらおうじゃないか

ボクの知っている
岸波白野という人は
いつまでも大人しくしている
性格ではありませんから

この声 聞き覚えがある

西欧財閥次期当主
レオナルド・B・
ハーウェイ

そして そのサーヴァント
円卓の騎士 ガウェイン卿

クラスはセイバー
その能力は
今回の聖杯戦争に
召喚された
サーヴァントの中でも
トップクラス

……なぜか
そんな知識だけは
きっちりと思い出せた

最強の
サーヴァントを従えた
最強のマスター

生徒会室

そんなレオと俺は
聖杯戦争の中で

対立していた…
気がする

ハッキリした
記憶がないのは
もどかしいな

呑まれないように
気を
引き締めないと…！

おはよう
ございま――す！

Garden4 日海原学園生徒会、発足！

お……おはよう
ございます

グッ

ビュルルル

グッドモーニング!!!

……はい？

おやつれませんね
ボクの記憶では白野さんは
わりとノリノリの
おかしな人物だったんですけど

兄さん
この白野さん
偽物かも
しれません

……レオこいつは
間違いなく岸波だ

お前のテンションに
引いてるだけだろう

そうですかー
うーん
これでも抑え目
なんですけどねー

レオ
何が悪いものでも
食べたのか

ええ 食べましたとも
それはもうガブガブと
黒いコールタールの
ような何かを

兄さんの
手料理を
なんですけどね

この校舎
学食がないんです
今だから明かしますが
ボクにとって
学食は聖杯戦争中
唯一の楽しみでした

なのに 学食がないので
先ほど無理を言って
兄さんに調理を
してもらったんです

なのに
完成したのは
コレ！

これは
ヒドイ！

……すまん
俺にとってカレーは
粉末状のものであり
レーションに
ふりかけるものだった

スープ状のものに
しろと言われ
ドラム缶いっぱいに
胡椒を入れて水と
オリーブオイルを
混ぜてみたのだが…

こんなものが
人の食べるもので
あってはならない！

まったく 兄さんは
アサシンがいないと
何もできないんですね

ユリウス 挫けないで
貴方が最後の砦です

次の無理難題が私に
回ってこないよう
踏みとどまってほしい

な

何なんだ この展開

……む
その様子からすると
ボクのことを
覚えているようですね

残念です
白野さんが
忘れているようなら
これを機にキャラ替えを
したかったのですが……

では悪ふざけはここまでに
いつも冷静沈着な
レオに戻ります

そろそろ
本題に入るぞ
レオ

……ユリウスだ
今はレオのサポートに
徹している

サーヴァント
ガウェインです

……その 我が主は現在
年相応の無邪気さを
発散しています

ですので 多少わがままは
大目に見ていただけますよう
皆さんの寛容さを
切実に期待します

改めて
お待ちしていました
白野さん

ユリウス……

ああ

奏者
あの男……

西欧財閥の殺し屋で
レオの異母兄弟
彼もマスターだった
ような気もするが
今はその気配を感じない

理由はわからないが
サーヴァントを
失っているようだ

……すまん
着席していいぞ
岸波

失礼します

校内の全スキャン
完了しました
校舎にはもう
未発見のマスターは
いないようです

そうですか

……状況から見て彼女たちも
どこかにいると思ったのですが
いないのでは諦めましょう

彼女たち？

そういえば普段
親しく話していた
マスターが
まだいた気がする

レオ 俺はなぜ
記憶喪失になって
しまっているんだ？

聖杯戦争で
いったい
何が…

……それは
お前だけの話ではない
レオも校舎にいる
他のマスターたちも同じだ

はい
ボクたちは全員
聖杯戦争中の記憶を
失っています

聖杯戦争は
月の表側で
行われてるものです
つまり

自分たちは表から
裏に落ちてきた

あの正体不明の
黒いノイズによって
裏側に落とされた

そう考えるのが自然でしょう

こんなことも
あろうかと
ワクテカ図面を
用意して
おきました

この図解にあるように
現在ボクらは月の裏側にいます

ガキャ

ボクらが
記憶を失ったことと
この旧校舎にいることは
関係があるはずです

不自然に消えた記憶は
不自然な状況を
解析すれば戻るのが
道理でしょう

ガウェイン
例のものを

ハッ！

ムーンセルは
光を記憶媒体にした
〝物質に頼らない〟
記憶装置ですが
ここはその光が
入り乱れた高次元

悪性情報や虚数すら
ソースとして成立する
〝宇宙の外〟です

ムーンセル中枢が
光を閉じ込めている
「熾天の檻」なら
ここは虚数でできた
「堕天の庭」

ここは
ムーンセルの裏側……
本来ならムーンセルが
「使用しない」と封印した
情報倉庫なんです

知性を持つ生命は
決して入ってはいけない
絶対禁断領域です

私たち上級AIも
裏側には
入れませんでした

まあ もうボクたちが
入っちゃってるんで
絶対も禁断も
ありませんけどね

とにかく
ムーンセルの法が届かない
そんな危険な領域で
ボクたちは目を覚ました

私たちNPCも同様です
本選でマスターの
皆さんと一緒に飲み込まれ
生き残った者が
校舎に残されています

この校舎には時間の概念はなく
何時間何千時間経とうと
我々は「この日」から
抜け出せないようです

この旧校舎は
安全のようですが
それもいつまで
安全なのか保証はない

加えて校舎の外は
あの青い海です

あそこから
脱出を試みた生徒が
触れただけで消滅したという
報告がされています

これで状況は
理解できましたね

さて そこで
ボクからの質問です

月の裏側

謎の旧校舎

失われた記憶

出口のない世界

ああ

取り残された我々

この状況で
ボクらが
するべきことは
何でしょうか

……わかりきっている

自分の状態はどうあれ
聖杯戦争に復帰しなくては

自分はまだ何も
取り戻していない

よし レオ
共同戦線を組もう

自分が何者なのか
という記憶も
戦いに参加した経緯も
聖杯にかける理想も

まだ空っぽの
ままなのだから

……だろうな
聖杯戦争では
敵同士であっても
この状況では
手を組まざるをえない

お前は
そういう男だ

期待以上の返答です
これで共同戦線の
開始ですね

聖杯戦争に
復帰するまで
いえ 月の裏側から
脱出するまで
ボクたちは仲間です

では改めて
レオ・B・ハーウェイの名の元に
ここに月海原生徒会の
発足を宣言します！

Garden 5. サクラ迷宮

桜
校舎に残っている
生徒のリストを
送ってくれ

はい
先輩……！

それにしても……

しかし
まず第一の
問題があります

問題？

これをクリア
できなければ
脱出プランを
練ることすら
不可能でしょう

まことに
苦いづらいの
ですが……

人数が
足りないのです

……は？

会長のボク

秘書の兄さん

じいやのガウェイン…

……そして庶務の
白野さんしか
いないではありませんか！

シ
ョ
ム
!?

これはボクが夢見た
生徒会とは呼べない
いや
呼んでいいハズがない！

そういうことですので
生徒会メンバーを
見繕ってきてください

少なくとも
副会長と書記の
ふたりは必須です

校舎には
ボクたちと同じ境遇の
マスターが何人かいますから
有能そうな人を片っ端から
スカウトしてきてください

……ええっと
本当に
大丈夫なのか
あのレオは……

shinji matou

最初のオーダーは
人材集めか

体よく雑用を
押し付けられたな
奏者

え……お前
白野じゃないか

シンジ！
無事だったのか

よかった
ようやく話の
わかるヤツが
出てきたよ！

お前 僕が
無様に捕まって
いたことを
覚えているのか

くっそ
格好悪い…

……！

シンジも
あの夢を
共有していた…？

まあいいで
お前もアレかい？

気が付いたら
この校舎にいた
クチだろ？

シンジ
出口を探しているなら
協力してくれないか？

あのレオが
生徒会長になって
脱出するため
マスターを集めてるんだ

何？ アイツも
ここに来てるの？

なあ 出口らしきものを
見なかったか？

ハッ お断りだね！

生徒会なんてくだらない
みんな仲良くで
脱出するなら
勝手にやってれば？

僕は天才だからね
凡人たちとは組まないのさ
誰の手も借りないよ

お主 サーヴァントの
姿が見えないな
どうしたのだ？

……いないよ
どうも
ここに来る時に
はぐれたみたいだ

ま聖杯戦争に
戻れば
すぐ帰ってくるさ

シンジ ひとりで
どうする気なんだ？
この状況で強がっても
いいことなんてないぞ

ご心配どうも
いらないお世話だよ
いつだって僕は
ひとりだしね

ゲームは
ソロプレイが
一番さ

アイツ……
人付き合いが
苦手なのは
前から知ってたけど
この状況だと
心配になるな

彼のことは
心配に及びません

私も声を
かけておきましょう

キアラ……
先生？

先生というのは
予選の中で決められた
役割です
キアラ でいいですよ

サーヴァントの
気配がする

こやつ
マスターだぞ

えっ

奏者
この尼僧と
知り合いか？

でも本当によかった
あの黒いノイズに
襲われた時は
覚悟を決めましたが
貴方は無事だったのですね

私 このような格好なので
逃げ遅れてしまって……

一階の廊下から
階段に向かう貴方に
声をかけたのですが
そちらは
覚えておいでですか？

そうか
あの校舎の中で
キアラも助けを
求めていたんだ

い……いや……

結局は誰も
助からなかったけれど
見捨てたのは事実だ

……生徒会 ですか

こんなことを頼むのは
虫が良すぎるかも
しれないけど

貴方もマスターなら
どうか
力を貸してほしい……！

確かにここから
外を目指すなら
手を取り合うのが
上策でしょう

ですが――

ごめんなさい
私は生徒会に
参加できないのです

理由は明白です
レオさんや白野さんは真剣に
全身全霊をかけて
脱出を目指しています

そんな中に
ここから出る気がない
ものが混ざっていては
士気に関わりましょう

ここから
出る気がない…

それはいったい
どういう…？

私には不可能と認め
心が折れた……
と申しましょうか

これでも自分なりに
脱出を試みました
しかし私の力では
できて外へ穴を空ける程度

外に出た瞬間
私の力では形が保てず
消滅するでしょう
私のサーヴァントも同様です

私では
力不足なのです

！

ですがレオさんや
白野さんの
サーヴァントなら
あるいは

その時……もし白野さんが
脱出する時 何の苦しみもなく
私を置き去りにして行けますか？

私を見殺しにしたと
心を痛めている
やさしい貴方が

見透かされていた！

きっと貴方は
迷ってしまうでしょう
力なきものを見捨てる
ご自分の弱さに

……それは
二重に残酷なこと

私は白野さんの
足手まといには
なりたくないのです

申し訳ありませんが
お引き取りを

そう言われては
引き下がるしかない
マスターとサーヴァントの能力は
そのマスター自身が
一番よく把握している

キアラが自分の力では
不可能だと断じている以上
他人である俺が
口を挟むのも無責任だ

わかった…

キアラ
すまなかった

いえいいのです
ご自分をあまり
責めないでください

あの時は
ああすることが
最善でした

それに……
今の後悔だけで
私は報われました

たった一度
話しただけの私の命を
悔やんでくれるほど
貴方は私を
想ってくれたのですね

……そう哀しそうな
顔はしないで

ご安心を
この校舎だって
そう悪いものでは
ありませんから

私たちを
閉じ込めた者が
何かは存じません

ですが これほどの
情報資源を持っている
にもかかわらず
私たちを放任している

それは寛大な心がある
ということでは
ないでしょうか？

私は九死に一生を得ました
ここにいる者たちは
その〝何者か〟の情けで
見逃されているのです

だがその〝何者か〟の
寛大な心が
いつまで続くかは
誰にもわからない

……
……

そもそもここに
閉じ込められた時点で
見逃されたとは
言い難いのではないか？

キアラの意思は
わかった

気が変わったら
また連絡して
ほしい

困ったな
協力してくれる
マスターが
ひとりもいない

うむ

魔術師というものは
本来慎重なものだからな
そうやすやすと
手を貸すものはいないか

……となると
残りの
マスターは…

ポリ
ポリ

ええい どいつもこいつも
腑抜けたNPCのような
面をしおって！

まともなマスターは
どこへ消えたッ！

小生のような益荒男(ますらお)は
この世界に
嫌われたと見える！

おお まさに

大・根・絶！

何だ
あの大男？

奏者 あやつ
どこへ向かう気だ？

キュ

これしきの荒波！

素潜りで突破してみせる

ダーイヴ!!!

うわっ！アイツ死ぬぞ!?

セイバー頼む！

無茶言いおって

はう!!

……目が合ってしまった

セイバー
何かヤバそうな奴だ
この場を離れよう

そそくさ…

ムリ…

貴様
マスターだな

そのサーヴァント
間違いないっ!

ああ…

近い

やはりそうか!
見たところ
なかなかの面構え

まさに
地獄にキュービッド
であるな

小生の名は臥藤門司(ガトウサンシ)
あらゆる神学を走破し
あらゆる真理に至った
スーパー求道僧(ぐどうそう)である

とはいっても
ここではお主と同じ
共に戦い 共に競い合う
一介のマスターよ

サーヴァントが
いない……？

お前も
シンジみたいに
サーヴァントと
はぐれたのか？

いや それがな

我が神は
「ショウジキナイワー」
と神託を残して
立ち去られたのだ

原始黄金の女神は
去り姿すら
「ワイルデン」
であった……

ちなみに
ワイルドと
ゴールデンを
繋げてみた

その後 気が付けば
この桃色校舎にポツンとひとり
退屈と破壊衝動を
持て余しておったのだ

ガトー
それなら話がある
聞いてくれないか？

聞こうではないか

？

あーもう

面倒くさいことになったッスねぇ

生徒会室

しからばご免！

我こそは地獄に垂れた阿弥陀如来の蜘蛛の糸！

臥藤門司お呼びと聞いて

即・托・鉢！

彼はあなたが？

いたいことはわかるがレオ今は猫の手も借りたいところだろう

……モンジ・ガトー？

……しかたありませんね

ガトーさんは
生徒会室の掃除やお茶くみ
校舎の見回りや
トイレ掃除をお願いします

兄さん 指導して
あげてくださいね

垂涎の予感はないと
わかっているが
成り行きに興味津々

モグモグ

おこのカレー
美味いな

まあまあ
言動に難はありますが
ガトーモンジは
一角の人物と聞きました

きっと何かの
役に立ってくれます

校舎に残った
マスターたちも
いずれ覚悟を決める
時が来るでしょう

人員不足は
解決するはず
今は行動の時です

これから
何をする
つもりなんだ？
レオ…会長！

「サクラ迷宮」を
攻略してもらいます！

白野さん
あなたに

この校舎から
外に出ることは自殺行為です
ですが……ひとつだけ
比較的正常な状態で
表側に向かっている
構造体を発見しました

それが……
校庭にある桜の樹です
あの樹の下には
外に通じると思われる
未確認のアリーナがあるんです

その先を調べれば
表の世界……
聖杯戦争に
戻れる可能性が？

ほう…

その可能性は高いです
未確認アリーナ…では
格好がつかないので

「サクラ迷宮」と
名付けました

な
とうして
私と同じ名前
なんですか？

そろそろ
到着します

桜
計測の準備を

はいっ

ここがサクラ迷宮……

信号確認しました
聞こえますか白野さん？
こちら生徒会室です

現在こちらのリソースは
白野さんの電脳体の保護を
最優先に設定しています

映像計測（モニター センサー）
ともに良好です

何しろ未知の領域ですから
常に白野さんをモニターしつつ
いざとなれば
こちらにログアウトさせる……

実際問題として
バックアップには
ボクと桜ふたりでも
足りないほどです

その手の
魔術師（ウィザード）スキルを
白野さんは
持っていないでしょう？

はさ…

確かに……

けど アリーナの探索なら
力を失った俺たちより
レオとガウェインの方が
確実なんじゃないか？

確かにボクたちのステータスは
力も奪われず以前のまま……
そうしたいのは
山々なのですが

小生が行ってはいかんのか？

……
やめておけ

褒者
来たぞ

攻性(こうせい)プログラムか！

セイバー
右のやつを
スタンさせる！

よし！

元々アリーナは
魔術師（ウィザード）の鍛錬の場として
開放された場所
アリーナである以上
エネミーはいる
おお
庶務殿
やるではないか

サーヴァントがいない
マスターでは
返り討ちになるだけだ
俺やお前では……
いや 俺やお前なら
1体は倒せるとしても
それが限界だ

そこから3ブロック先まで
エネミーの姿はありません
そのまま
直進してください
わかった
桜
生徒会室から
サクラ迷宮のスキャニングは
できませんが
白野さんを観測装置として
代用することで
周囲の様子は測れます

桜……

ああの……

先輩……
待ってください

……気を付けてください
迷宮の中は
彼女の領域です

もし出会ってしまったら……
絶対に逆らったりしないように

危なくなったら
すぐに帰って
きてください

わかった
桜行ってくるよ

あの時の桜の話し方だと
彼女というのが迷宮の主……
いや この事件の元凶のように
聞こえるな

桜は敵の正体について
何か知っているみたいだ

何やら意味深だが
桜もムーンセル側のNPC
いや上級のAIだ
おいそれと話せないこともあろう

あとは……何だろう
この生命反応……

迷宮全体に
生命反応が
計測されています

生命反応……
つまり我々より先に
迷宮に入った人間が
いるということか？

いえ ゲートは私がさっき
開いたばかりですから
迷宮に入った生命体は
いないはずです

いるとしたら それは――

初めから
サクラ迷宮に
いるもの

あるいは
旧校舎まで
逃げられなかった
犠牲者では
ないでしょうか？

でも……
おかしいな…
こんな大きな
生命反応なのに
ＩＤが読み取れない
なんて……

あ
待ってください

ここだけ
コードが新しい

この建物は
最近増築された
もののようです

生臭い……

血の匂い……？

!!

何だ……
ここは!?

うう

うう

うう

うう

見たところ
人間のようですが……

サクラ
彼らはどちらです
NPCか それとも
マスターか

……両方です
おそらく皆さんと
同じように
表側で捕まった
電脳体でしょう

あの人たちは
旧校舎に逃げ切れず
迷宮に囚われてしまったと
推測されます

ひどい……!

まだ……
生きているぞ!

そこに
誰かいるのか……？

なあ 返してくれよ……
返して……返せ……返せ……

返せ 返せ 返せ 返せ！

俺の才能を……
返してくれ

……そういうことですか
NPCからは
自己復元できるギリギリまで
血液……データを抜き

マスターからは
魔術回路を引き抜いていく
魔術師としての
天性の素質である
才能そのものを

何とか
助けられないのか？

もう手遅れです
あそこまで壁に
融合されていると
彼らは元の姿に
戻れない

一歩間違えれば
俺たちもここに
囚われていたかも
しれないなんて……

そんな……

ミシッ

あら……？

まだ狩り残しが
いたのかしら

サクラ連載 web-new-arrival

せっかく安全な校舎に
逃げ込めたのに
わざわざココに来るなんて

あなた 物好きね？

貴様
エネミーでは
ないな……？

何奴(やっ)

アンノウンの
解析出ました

この反応は……

サーヴァントです！

うふふっ

退屈な生け贄にも
飽きてきたところだし
サーヴァントなら
いい声を聴かせてくれそう

そこの子ブタ
あなたも一緒に
串刺しにしてあげる

でか、

奏者

こやつは危険だ！
今は下がって……

ザコは
黙ってて

な……？

尻尾……!?

まったく
アイドルにこんな
はしたないこと
させないでよ

あら
あなた……

凛……
だって……？

ちょっと
マズかった
かしら？

よく見たら
凛が執心している
ヤツじゃない

そこまでよ
ランサー

遠坂……

遠坂凛？

Garden 6 月の女王

こんにちは
白野君
ようこそ私の城へ

これっぽっちも
うれしくないけど
歓迎だけはしてあげる

ランサー！
あなたこんなところで
何やってたの？

ちょっと用事よ 凛

優勝候補の一角だった
凄腕の魔術師
(マスター)
そして俺の
大切な友人でもあった……

遠坂が
どうして
この迷宮に？

まさか
桜が言っていた
迷宮の主(ルーラー)って……

気安く
呼ばないで
ちょうだい？

私はこの城の女王(クイーン)にして
ムーンセルの新しい支配者——
そう しぶとく生き残った
あなたたちを管理・支配する

月の女王様とお呼びなさい！

月の…女王？　正気か遠坂！

ふん そっちの考えもお見通しよ 月の裏側から出たいんでしょ？

だから唯一の出口であるこの迷宮にやって来た

でもざーんねん ぜったいに出してあげないから

これは防壁!?

この先に進ませない気か

材質はブラックアイス型… 防壁セキュリティレベルは……

サクラ これは何ですか？

☆（スター）？

あり得ません!!

計測不能…… カウントがオーバーしているんじゃなくて数値にすることができない

ムーンセルのライブラリにもない新種の防壁なんて……！

素寒貧（すかんぴん）のくせに
人の心をまじまじと
見ないでくださる？

あなたに
この防壁は
突破できないわ

だいたい
表に戻って
どうするの白野君？

あなたの実力じゃ
せいぜい2回戦どまり
すぐにやられて
死んじゃうだけよ

それとも自分から
死にたい趣味なワケ？
そういうことなら――

これで私が
いただいてもOKよね？

始末なさい！
ランサー

っ 凛は本気だ……！

ランサー 貴様 余の奏者を
ブタと言ってくれたな

ブタを
ブタと呼んで
何がいけないの？

むしろ誇りに思いなさい
この私に名前を
呼ばれるのよ？

絶頂くらい
しなさいよ

ほら 早く
フヒイイイって鳴いて！
鳴きなさい！

鳴けっては

鳴いてください

鳴かないの？

断る！

うそ どういうコトよ……

この世界なら
何でも私の思い通りに
なるって言ってたのに！

ちょっとランサー
落ち着いて

きゃっ

たまたま！
アイツらが言うコトを
きかないのは
たまたまだってば

ランサーの
様子が……
変だ

どうやら凛は
あのサーヴァントを
まだ制することが
できないようだな

奏者 ここは
いったん引くぞ

わかった……！

脱出経路
送ります！
帰還して
ください！

ああ もう
逃がしちゃったじゃない

バカー!!

……追撃はないようだ
本当に校舎までは
手が出せないようだな

ああ……
でも……

俺が知ってる彼女は
目的のために
あんな拷問をするような
人間ではなかったはずだ

俺たちは本当に
遠坂を相手に
戦うことになるのか…？

岸波

無事…生還したな

出迎えが俺だけで
すまんな

遠坂凛とサーヴァント…
そして未知の防壁と
問題は山積みだが
今 レオたち生徒会が
対策を考えている

保健医が
個室を用意したので
今晩は休め

鍵？

風呂もあるぞ

まことか！

ふう
ようやく休めるな

毎度のこととはいえ
息つく暇もないとは
このことだ

そなたも
疲れを癒さぬか？

湯浴みは
良い

実に良い

お俺は
後でいいから

セイバーこそ
疲れただろう
ゆっくりしてくれ

「」

この部屋だけ
窓の外が
夜になっている

ここには
時間の経過が
ないはずなのに

桜がここの権限を使って
そなたに配慮したのだろう
十分な休息を　となな

桜は保健医の仕事以上に
そなたを気遣って
いるようだ

良い女官だ
大切にするがよい

みんなの期待に
応えないと……
いけないな

せん……ぱい……

アイツ
また来るかしら

生徒会室

みんな……
揃ったな

これより生徒会
ブリーフィングを
始める

岸波白野による
迷宮探索の成果は
2つ

ひとつは未知の形式で作られた
防護扉の発見だ

生徒会はあの扉を
"シールド"と呼称

今後はシールドの突破が
最優先課題となる

彼女は月の女王を名乗り
岸波を捕らえようとしました
我々のことを〝生き残り〟とも

理由はわかりませんが
彼女がこの事態の
原因であり

我々を閉じ込めている
敵とみて間違いないでしょう

遠坂凛の
サーヴァントはランサー
以前契約していた
ランサーとは違う
英霊のようですが

ランサーというクラスは
サーヴァントとしては
それほど強力ではありません

せいぜい
B＋からAクラスです
油断しなければ
十分に撃破できる相手かと

シレっと
ガウェインは言い切ったが
B＋からAクラスといったら
最上級のサーヴァントだ

これだから……
天才たちの基準と
いうやつは……

女王を名乗ったミス遠坂と
ランサーに関しては
まだ情報が足りませんが

戦力さえ増強できれば
十分に対応可能でしょう

問題はシールドです
こちらは明確な方針のもと
かからないと
打開できないでしょう

生徒会でも
分析できなかった
シールドの対策を
どうやって……

はい
その件について
ですが

この方に協力を
いただけることに
なりました

キアラ…！

よかった
生徒会に来てもらうのは
望めないと思っていた

いいのか？

桜さんに
シールドのデータを
拝見させて
いただきました

たまたま私の
専門分野でしたので…

それくらいなら
非力な私でも
お力添えできましょう

この防壁に
遠坂凛さん……は
何か言って
いませんでしたか？

ええっと…

……

やはりそうでしたか

この防壁は秩序だったロジックで
出来たものではありません

これは人の感情……
〝見せられない本性・属性〟を
実体化させた

心の壁です

そういえば……
「人の心を見るな！」
そんな意味合いの言葉を
言っていたような……？

心の…壁……？

レオさんは医療……
臨床心理学には疎いのでしょう
わからないのは無理も
ありませんわね

とはいえ
これほどの規模と強度のものは
私も初めて見ました

凛さんは強く私たちを
拒んでいるのですね

心の壁は
それ単体では
破壊困難です

壁は
破壊するものではなく
理解するもの
そうお考えください

壁の元である遠坂凛の心のあり方
隠された本性を見抜き
受け止めることです

彼女と話し 戦い 観察し
その〝秘密〟を手に入れるのです
それが扉を開ける鍵になります

ゴクッ

遠坂の……
秘密……

敵を知るには
敵と刃を交え
お互いをさらけ出す――

そういうこと
でしょうか？

あり得ん

それで人間の何がわかる
殺生院 地上では
その綺麗事も通じただろうが
ここは戦場だ

具体的な方法を示せ

人の心の動き
魂の反応は
通常の観測方法では
脳波（グラフ）の上下で
処理されるもの

形而上のものを測るには
観測者もまた精神を主体とする
生命になる必要があります

本来なら長い修行を
要するものですが
今は火急の時ですものね

今回は特別に
五停心観術式の亜流……
詠天流版をお譲りいたします

ゴジョウ……
何ですか？

煩悩を断つ
初歩的な瞑想法

不浄観
慈悲観
因縁観
界分別観
数息観
の五つを指す

仏教の
教えである

五停心観術式は医療ソフトです
患者の瑕を発見し
淀みを浄化するのです

シールドは秘密を守る心の壁
であれば その秘密を
知られてしまえば
守る意義は消失しましょう

なるほど……

ではそのプログラムを
私にインストール
してください

外付けのソフトを入れるのは
本来禁止されていますが
今は…緊急事態ですから！

いえ 桜さん

インストール先は
生徒会室ではなく
岸波さん自身に
行います

えっ

あっ…
あの！

私は反対です……！

その 感情を観測するソフトが
どれほど白野さんの体に
負担がかかるか……
そんなリスクは負わせられません

外付けのソフトでしたら
AIである私が適任です

残念ながら……桜さん
AIの貴方では無理なのです

感情を読み取れるのは人間だけ
桜さんでは観測はできても
理解はできません

それに実際に凛さんと
向き合うのは白野さんなのでしょう？
これは彼にしかできないことです

そんな……

しゅん‥

大丈夫だよ桜

俺の頭元からたいして容量使ってないし…！

キアラ他に方法がないんだインストールしてくれ

はいいいのですね？

ああ？

本当にいいのですね

えっ

えーーーっ!!!

――女の話をしよう。

目覚めた時から、女は病理に繋がれていた。

重い鎖は満遍なく。

つま先から頭まで、ミイラの如し死に化粧。

自由がない、と余人は憐れむ。

自由はない、と彼女は喜ぶ。

鉄のドレスは難攻不落。

城門開いたその奥に、在るのは乙女か魔性の罠か。

な 何をしている
貴様ら

ドルドル..

キュ

……
!!!!!!

……
!!!!!!

ゴゴゴ

これはさすがに
予想外です！
兄さん
録画の準備を！

メガ

早く早く！

公衆の面前で
なんと大胆な……

羨ましい…

ダイインプ……

もう
口を開けば
ひどいことばかり
私はただ
心を込めて
お渡しした
だけなのに

おい
そこの大淫婦
譲渡に接吻は
必要ないだろう

いつまで
悦に浸っている

アンデルセン

子供……!?

いつの間に

初対面で失礼でしょう
この方たちにご挨拶を

……ふん
ただいま紹介に与った
三流のサーヴァント
アンデルセンだ

何のクラスかは語るまでもない

最低なマスターに相応しい低俗な英霊だからな

アンデルセン…って
まさか
ヨハン・クリスチャン・アンデルセン?

『人魚姫』『マッチ売りの少女』を書いた童話作家の……!?

そうだとも 凡夫
お前に助言してやろう

他人を信じるな
女を信じるな
Lo
特に
この女だけは
避けて通れ
肉体 言語 思想 結末
そのすべてが
常人には毒になる
強すぎる光は
目を潰すというだろう？
聖人の説法というヤツは
凡俗には耐えられないものだ
この女の場合は
さらに始末が悪い
あんな繊細な童話を書いた人物が
こんなに捻くれた
性格だったなんて…
真実とは残酷だ
聞こえてるぞ
ふん
俺は辛辣に真実を語る
歯に衣着せた言い回しでは
薬にもならん
その人間の価値
ひたすらに
コキおろしてやろう
……はあ
またその言葉ですか
貴方とはそれなりに長いですが
人間に値を付けるのは
いけないと言ってるでしょう
モニ..
真実を口にするのが
俺の仕事だ
毒婦め

ぎゃあああ――っ!!

やめろ!

フフ…

こういうサーヴァントですけど
仲良くしてあげてくださいね
根は素直ないい人なんですよ

いろいろ
ありがとうございます
キアラさん

これで白野さんに
新しいスキルが
付属されたのですね

はい
白野さんが
抵抗するものですから
あやうく失敗する
ところでしたが

お楽しみのところ
すまんな
寝者よ……

いろいろって何だ
いろいろって……!
そりゃあ抵抗なんか
するに決まってるよ

心の壁が
あるということは
その大本である女性は
救いを求めていると
いうこと

あとは白野さんの
頑張り次第ですわ

サクラ迷宮探索
２日目――

遠坂さんの秘密…
SG入手に向けて
探索を開始します

白野さん
気を付けてください
いつ遠坂さんやランサーの
襲撃を受けても
おかしくない状況ですから

わかった

ところで桜
そのSGというのは
何です？

「Secret Garden」の
略称です

ムーンセルのライブラリに
登録されていた
名称ですので
今後はSGで統一しますね

まずは凛を
捜さないと…

きゃあああ――!!

!!

ごめんなさい！
もう逃げないわ

だから もう
串刺しに
しないでぇ！

はあ？
そんな生ぬるいオチ
私が許すわけないじゃない
生け贄は簡単に手放さないわ

アナタたちは家畜
私が飽きるまで
吸血課金地獄で
いたぶられる運命なの

ランサー！

あら
アナタたち
また来たのね

逃亡者を始末しに来たら
ついでにまた会えるなんて
ラッキーね 私

ほう
その口ぶりでは
ただの偶然か

近くに
マスター反応
ありません
ランサー単騎です

チャンスですよ
白野さん

呆れたな
城の主と謳いながら
迎撃の準備を
さぼっていたとは

アナタ
アイドルを前に
礼儀が
なってないわ

ここをどこだと
思っているの？

ここはアリーナ…
……サクラ迷宮だろ？

そう
アリーナよ！

選ばれたファンしか
座れない一等席！
ライブ会場の華
アリーナなの！

私の
美声を聴いて
平伏しなさい

……
どうやら
猛烈に
勘違いしている
みたいだが

台詞はともかく
あのサーヴァントの
実力は本物だぞ

奏者よ
気を確かに持て
言動に惑わされるな

飛び降りろ奏者！

うわあああっ

ああ
せめてランサーの
真名だけでも
掴めたら
対策が取れるのに……！

対サーヴァント戦では
敵のサーヴァントの真名……

サーヴァントが
かつて英雄だったころの
真の名前が重視されている

もし真名を
敵に知られて
しまった場合

そのサーヴァントの
弱点まで暴かれる
可能性があるからだ

あああ
たまんない……
いい顔で見上げて
くれるじゃない
人間

貴い血筋に
対する敬意が
できている
ようね？

貴い血筋
……だって!?

気になる？

気になるのね？

知りたいのね？

ナイスコール！

よろしくてよ
そんなに
知りたいのなら
教えてあげる！

私こそ高貴なる竜の娘！

雷鳴轟くヤーノシュ山より
舞い降りた鮮血の唄歌い！
私こそハンガリーにその名も高い

エリザベート・
バートリー!!

えっ!?

凛が合流した…！
単騎のチャンスは
失ったか

いや……
しかし…

バカあああ！

そこまでよ
ランサー！

真名を明かすとか
何考えてんの！
後で怒られても
知らないわよ

っと いけない
真名は秘密事項よね
マネージャーと
契約した時
おいそれと
名乗るなって
言われたんだったわ

真名だけじゃなくて
能力は全部秘密！
アンタ 他に妙なこと
口走ってないでしょうね

エリザベート・バートリー……！
知っているぞ
〝吸血鬼カーミラ〟の
原典となった人物だな！

ランサー！

しっかり
バレてる
じゃない

言った……！
自分から
真名を名乗ったぞ

エリザベート・バートリー
ハンガリーに実在した
血に濡れた伯爵夫人
己の若さのために
領民たちを捕らえては殺し
血を浴びたという大量殺人者

サーヴァントにとって
真名は最後まで
隠し通すもの
それを敵に対して
堂々と宣言する意図が
ホントにまったく
わからない……！

意図？

家畜相手に
意図なんて
必要ないわ
アナタはただの
生け贄だもの

支配者である
私のために
浪費される……
それが家畜の
本懐でしょう？

命令ほら
凛も女王として
命令していいのよ

まずは
サーヴァントを潰して拷問室へ
次にそのマスターの手足をもいで
迷宮の入り口に置いておく

それで
そいつを助けに来る
校舎の生き残りたちを
ひとりひとり捕まえて
殺していくの！

なんて素敵！
想像しただけで
頭痛も消えるわ！
これって
放置プレイって
いうのよね！

……

そうね
それもアリね
コイツ 放っておくと
いつの間にか
逆転するタイプだし

捕まえた
他のマスターたちみたいに
私の足元に跪かせるのも
悪くないわ

だって 私
月の女王様
なんだもの

そういうわけで
覚悟して
もらおうかしら

白野君

遠坂っ！

……信じられない
どんな経緯で彼女が
女王になったのかは
わからない

それでも
たとえ敵になっても
彼女の本質は
変わらないと
信じていたのに――…

おっまかせ♪

それじゃあ
弱っちいサーヴァントから
私の槍で
ミートパイ風味に……

えっ？

でも
それじゃつまらない

ここまで
レベルダウンした
相手と戦っても
張り合いがないでしょう

「遠坂は常に気高く 優雅たれ」
とっくの昔に廃れてるけど
それがうちの家訓なの

先に帰っていて
ランサー

こんな雑魚
相手にする
必要もないわ

本気？

……まあ ここは
アナタの城だし？
そういうことなら
様子を見てあげる

ただ こんな
つまらないこと
二度目はないわよ

これは……

今のは
白野さんを
助けたのでしょうか

なぜこんなに
遠回しなことを
するんだ

奏者

もしかすると
凛の秘密に
関係が……？

ふふん
何その目…

いいこと？
私は弱いものいじめは
しないって言っただけよ

別にあなたを
気遣ったわけじゃ
ないの
次も懲りずに
忍び込んで来たら
その時は本気で
搾り取らせて
もらうから

左手が……
勝手に……

う……な 何よ
いきなり悲しそうな
目をしちゃって

だ だからその目やめてってば！
私は女王様だって言ったでしょ

っていうか
女王様って呼べ！

わかる？
こんなのは
女王として
当然の情け
なんだってば！

ぜったいに
勘違い
しないでよね！

私は
あなたのことなんて
何とも思って
ないんだから！

奏者！
これは

五停心観（ごじょうしんかん）
術式（プログラム）が
反応して
いるんだ！

SG判明しました！
それが凛さんのシールドを破る〝秘密〟です

遠坂凛
SG1：『自意識過剰』

な 何よ
今の？

私の秘密を……
ぶっこ抜いたと
いうの？

！

くっ……
分身が…保てない……
無数のはずの欲身を消す
秘策を持っていたなんて……

さすがね……
侮っていたわ
白野君

やっぱり あなたは
私が女王になるための
最大の障害ね……！

でも勝負はここからよ
この私は四分の一にすぎないわ
これぐらい
全然痛くないんだから

ァァ…

覚えてなさい

遠坂！

分身だと!?
本体は
どこにいる!?

シールドの消滅を確認
迷宮の奥に行くことが
可能になった

帰還しろ
岸波

？
どうしました
桜さん

グォーター……？

もしかして
迷宮に入ってから
ずっと計測されていた
生命反応って——

ァァ…

やっぱり
そうです！
あの生命反応は
迷宮そのものから
発生している
ものですが
ＩＤは凛さんです！

その数値から逆算すると
あの凛さんは本体から
流出した意識の一部と
思われます！
容量的に
迷宮の四分の一
ですから

何だって…？

それでは
この迷宮
そのものが……

い…凛の心の中だと
いうのか!?

嫉ちゃんが
他の契約者か

遠坂は
怖くないのか？

最後のひとりになるまで
殺し合わないと
聖杯を手に入れられない

俺は……

ああ
もう何
よのいつ

誰が
私の気持ちに
気付いてよ

Garden-8 禁猟乙女領域

ガラッ

ちょっと！
ランサー

あなた
また貯蓄を
使ったわね？

ブラッドバス
鮮血の風呂
は
私の日課なの

貴族なんだもの
お金かかって
当然でしょう？

ﾋﾀｯ

血を浴びること
とっても美容にいいの

私の肌も
ツヤツヤになるわ

それよりも 凛
イイの？
子ブタに防壁を
破られちゃって
そのうち
この階の最奥まで
突破して
くるわよ？

う……

ランサーのやつ
ますます
わがままに
なってきてるわ

拷問室の
効率を上げて
貯蓄の補塡を
しなければ
だめね

……むっ

そうしたらアナタ
『月の女王』を
降ろされて
しまうわね

……アイツ……!!

かかった
わね！

イラッシャイマセ

遠坂パワーイズマネーシステムノ
ゴ利用アリガトウゴザイマス

ココカラ先ノ区画ヘ進ムニハ
遠坂様ノ口座ニ指定金額ノ
入金ヲオ願イシマス
→1000SM

ATM?

ATMだな…

俺の記憶が
確かなら……
これはATM

……

こんな物を
用意するなんて
遠坂はますます
おかしくなって
しまったのか

この迷宮では
SM(サクラメント)というメモリが
通貨として
扱われているようですが

白野さん
お手持ちは
ありますか?

敵性プログラム(ミニオン)を
倒した時に
排出されるやつか

だめだ とても
1000SM(サクラメント)には
足りない……

仕方ありません
僕の資産から
白野さんへ
送金しましょう

桜(さくら)
SMへの
換金を
お願いします

はい 可能ですが…
交換レートが
高くて……

100分の1くらいに
減ってしまいます

100分の1？

さすが西欧財閥の御曹司…
あんな大金をシレっと
出せるなんて……！

ゴ利用アリガトウゴザイマシタ

ピーロン

奏者！ 見ろ

遠坂PMS(ピーエムエス)とやらが
またたくさん
配置されているぞ

これでは破産
待ったなしだ！
とことん我々から
搾り上げる気だな
凛め！

だんだん
遠坂の趣向……
いや

SG（ストーカー）が
見えて
きたぞ…

ガチャーン

うふふ
そうそう
じゃんじゃん
課金しなさい
白野くん

♡

入金される音
たまらないわね
これは

ジャラララ

超過の振り込み金額が
10000000SM!?

0
1,000
2,000
3,000
1000 000

…って
うそーん！

ヤバいぞぉぉ

2つ目のSG（ストーカー）
それは……

油断したなっ
遠坂……！

遠坂凛
SG2：『拝金主義』

助かった！
レオ

99ッ

いえいえ
白野さん
利子はトイチです
ご利用は計画的に

えっ
生徒会の経費で
落ちないのか？

拝金主義か

しかしまた
優雅さに欠ける
趣味よな 凛よ
財を消費するのではなく
貯蓄に励むとは

悪かったわね
お金が好きで
何が悪いの？

自分でもどうかと思うけど
山のようなお金を見ると
ちょっとキュンとくるの！

今まで誰にも……
いえ 恥ずかしくて
絶対に言えなかったけどね

また
分身か……！

白野君
あなたはどうして
遠慮なく人の心に
踏み込んで来れるの？

信じられない
気遣いもない
デリカシーもない
憎たらしいったらない
わ

……ま 今 消えちゃう
「拝金主義」にはもう
どうでもいいコトだけど

遠坂
消える前に
答えてくれ

拷問室……
アレは本当に
君の意思で
やっているのか？

もちろんよ

捕まえた奴隷は
閉じ込める
ものでしょう？

臆病なマスター
口だけのエリート
働かないナマケモノ

せっかく
スキルに溢れてるのに
寝かせておくのは
もったいないわ
だから強制労働
させているだけ

それも
衣食住プラス
睡眠 休憩
デザート付きで！

ほら
適度な娯楽をあげないと
仕事の精度は
落ちちゃうし

どう？ 不良債権を
有効活用しているのよ？
感謝されるコトはあっても
文句を言われる
筋合いはないわ

……!?

待ってくれ！
話に食い違いがある
俺たちが見た拷問室は
みんなが磔にされて
無理矢理
血を抜かれていたんだ

そんな人権が
適用されるような
ものじゃなかったぞ

何ですって……？

あなたたちが
嘘を言っている……
かどうかは
私が確かめれば
いいコトか

……でも
確かに
ランサー（あのコ）なら
やるわね

わかった

まだ助けられそうな
NPCやマスターがいたら
解放しておくわ

……アレがそういう
サーヴァントだって
知っていたのに
放置した私のミス
だから

そして
忠告しておくわ
ここから先は
もう本当に
来ちゃダメ

捕まったら
搾取だけでは
すまないから

ここで
追い返す気だな

蹴散らすぞ

むっ

そなた 何を
笑っている？

よかった
遠坂は
やっぱり…
遠坂凛だった

うむ

まだ希望は
残っている！

ランサー!

ちょっと
どういうコト?
私 200リットルを
要求したんだけど

なのに
用意できたのは
たったの
10リットル?

奏者
あれを見ろ

何だ
あの彫刻は…?

ドキ

わ 悪かったわね……
でも今はこれが精一杯よ
大浴場は無理でも
シャワーぐらいなら……

私としては
あり得ない発想だけど
貴女は私の付き人だし?

特別に言うコトを
聞いてあげたけど…

言い訳は結構よ
ねえ 凛?
貴女が言ったのよね?
拷問室のブタたちから
搾取はやめろって

まさか貴女
代案もないまま
私に意見したの
かしら?

代案は私の血……
それで満足
できないかしら…

当たり前
じゃない！

きゃあ
……!!

貴女 それでも
女王なワケ？
私を養う甲斐性も
ないくせに

ただあのブタどもが
可哀そうだからって
私に命令したのかって
聞いてるのよ！

っつ あ……！
ごめ ごめんなさいラ…ー
次はちゃんと用意するから……！

ひどい……！
やめさせないと

待て 奏者

凛の様子が
……妙だぞ

ええっ

きゃあっ！
はっ ぐっ くっ……！

ほら私に従いなさい 凛！
有能な貴女を
私が管理してあげる！

私が誰よりも上手く
貴女を冷遇してあげるから！

今……確かに
遠坂の胸に
隙間が見えた！

凛の秘密……！

あれは……

悲劇のヒロイン願望？

はぁ…

そうか

それは……

凛の隠された願望 それは「普段の自分とは真逆の性質」

やや
白野君——
？

子ブタ？
いつの間に

ランサー！
貴様の相手は
こっちだ！

嘘 見ないで……！
こんなの私じゃない——
私じゃないんだってば！

っっ

遠坂！
ゴメン！

あ ああああ
あああああああ!!

確かに
悲劇ではあるが
あれはもっと
根が深い願望だ

普段の
遠坂凛からは
考えられない
ほどの

導き出せ
岸波

あ……あはは……
見られた……
見られちゃった
私の秘密……

あ でもちょっと
気持ちいい かも——

そう 私は誰かに
支配されたかったの

遠坂凛
SG3:『隷属願望』

いつも気を張って
胸を張って
格好よく生きるなんて
疲れるだけ

心の底では
いつも楽になりたかった

管理される立場
自由のない毎日
誰かに命令される自分に
ずっと憧れていた！

……ふふ あはは……
ああ やっと楽になれた
ありがとう 白野君

へえ 凛ったら
本体に戻っちゃった

貴方——
ただのブタじゃ
ないようね

まあいいわ
凛がいないんじゃ
私も興醒め
ライブはここで
お開きにしてあげる

——お礼に殺してあげる
殺す 殺すわ 絶対に殺す

!

それじゃあバイバイ
出口のない この迷宮で
みじめな最期を
迎えなさい

あの彫刻の中に
遠坂の本体が
いるのか？

待てっ
ランサー…

このレリーフ……
シールドと同じ
霊子を感じるが…

これは
扉などではない
完全な行き止まりだ

……どうする？

白野さん
そのまま手を
かざして
ください

白野さんは
凛さんの秘密を多く
手に入れています
凛さんの深層に届く
精神潜入も可能かと

それが
五停心観術式の
正当な使い方
なのです

邪な考えに満ちた
本心の折伏が成れば
凛さんは
殻から解放され
正気に戻りましょう

白野さんの
手で……
凛さんを
救ってあげて
ください

わかった
いくぞ
セイバー……！

よし

数値をマスター
遠坂凛に代入

心象空間の
深部領域に到達後
電脳体として再構成

そこから先は
生徒会の
バックアップも
届きません

頼みます
岸波さん

深層落下 開始
スハイラル スタート

Gazlan'S
月の支配者

聞こえる……？
それとも伝わっている…？

!?

なんで
どうでもいいコトだけど
わかってもらえなくていい
伝わっていなくていい

これは……
遠坂の
心の声なのか

私の声は 心は
誰かにわかって
もらえている？

耳を貸すな
奏者

目の前に
奴がいる

大事なのは私自身
私は 私が納得する
生き方を送りたいだけ
そのために すべてを
支配すると決めただけ

あら
こんなところまで
追ってこられたのね

聞きなさい

そこの無害っぽく
ひょこひょこ現れては
こっちの関心を引いたり
世話を焼かずにはいられなくなる
小動物系男子

つまり 私と
やりあおうって
ことね

無論だ

当たり前の水準が
違う連中には
それが時に奇異に映るだけ

ついて来られない人たちに
説明するのは
もう飽き飽きなの

私は新しい月の女王
それを邪魔するアナタには
私の偉大さを
理解させなくちゃいけないの

わかりなさい わかれ わかって

地面を這いつくばる
働き蟻に
私の苦悩は
まぶしすぎる

そうよ
私はいつだって全力なの
そんな私が どうして
文武両道 才色兼備 優雅の化身が！

面倒を見てあげた後に
アフターケアの優しい言葉まで
かけてあげなきゃいけないのよ！

遠坂……

なかなか硬いわね

じゃあこれで串刺しはどう？

とにかく私は疲れたの
変な決めつけもたくさんなの
鈍感な白野君の頭を叩きたいの！

……そうよ
私がやっていることの意味くらい
すぐに気が付きなさいよ

絶頂無情の夜間飛行（エステート・レビュレース）

なんとっ

飛べるのか

ずるいぞっ！

私は
私が正しいと思うことだけするわ
善も悪も 需要も供給も
特売品も希少品も
全部 私が決めてやる！

文句なんて言わせない
私を楽にすることも
できないくせに

私の代わりに考えてもくれないくせに
私よりうまく悩んでもくれないくせに
私のことを苦しめてもくれないくせに

何も 何も
ぜんっぜんなんにも
できないくせにー！

確かに俺は
何もできない…

だけど

君の本音を
受け止める
ことくらいは
できるぞ！

遠坂！

ちょっと？

何よ

放しなさい！

エッチ！

捕らえたぞ

何
ちょうどよい所に
ヒモが付いて
いたのでな

ゴゴゴ

コードキャスト
Gain:STR

このお

天幕よ…落ちよ！

花散る天幕（ローサ・ノイク・テイス）

あら…

押し負けたわね

ちょっと
血を抜きすぎよ
凛

ま いいけど？
所詮(しょせん)はリハーサル
今回はあくまで
前座だもの

じゃあね
凛

逃したか…！

奏者
凛は無事か？

一時のパートナー
だったけど
アナタ わりと
可愛かったわよ？

ナナ

やめて……

もう やめて
ください……

ようこと
聞きます……
私 ばかり
聞きますから……

責任を取るのは
イヤなの……

だって素直に
なれない……

責任なんて
持ったら
言いたいことも
言えないの……

これが…リンの
丸裸の心

エゴに支配された
本心の迷いを覚ませば
リンは正気に戻るはず

選択を誤るなよ
奏者

言いたいことも
言えない

……それは
そうだろう

けど それでも
自分の我を
通してきたのが
遠坂だ

君は……
人を指導する責任も
人に憎まれる
責任も背負って

それでも胸を
張っていただろう?

そ そんなこと
言われたって
言われたって……!

私は自分が可愛いの
それが
自然なんだって
気付いたの!

今さら 何が
正しいなんて——

そんなのわかりきっている

「自分が一番可愛い」のは当然だけれど それは何も恥じるコトじゃない

本当に恥じることがあるとしたら それは「自分だけが可愛い」人間だ

凛がどうして人に厳しいのか俺はちゃんと気付いていたよ

それは 遠坂が目に映る人間の可能性を無視できなかったからだ

自分にも他人にも厳しいのが遠坂凛だ

そっか…それで いいんだ…これが私……

あ――ああ

ホントは弱いクセに精一杯強がってみせる私……最後まで強がってそうよね それが遠坂凛だった私が一番好きな 私の信念――

ああ……気持ちいいけど恥ずかしい……全部 見られちゃうなんて

でも これでいいのよね……心の底の自分だけは変えられない…

あ……！

わたしはこれでいいんだ

あれ 白野君
……私
どうして…

確か
赤いランサーと
契約して……

その通りだ
して凛よ なかなかに
痛快な宣言をしていたな？
確か 月の女王とかなんとか？

あ ああああ

恥 恥 未代まで
私 何だってあんなコトを
うおうおっ

うむ
その反応こそ
凛だ！
正気に戻った
ようだな

なかなか
おもしろい
見世物
だったぞ

セ セイバー……！
あまり遠坂を
いじめないで
やってくれ

……でも
これで終わったのか

ようやく
月の裏側から
脱出できる……！

そうだった！
こんなことを
している場合じゃ
ないのよ！

早くアイツを
何とかしないと
私たち全員 永久にここから
出られない……ううん
もっとひどいことになる！

アイツって…？

落ち着きましょう
月の女王さま？
アナタたちは
どうあがいても
あらゆることに
間に合わないんん
ですから

何を焦って
いるんですか？

時間なんて
それこそ無限に
あるじゃないですか

ヤバい……
アイツが来た

――アイツよ

マスターを月の裏側に
引きずり込んで
私を捕まえて
迷宮に組み込んだ元凶――

ええ そうです
わたしが
貴方たちを
陥れた元凶

ムーンセルの半分――
月の裏側を支配する
本当の月の女王

こんにちは
初めまして 白野センパイ
もう後戻りはできませんから
覚悟してズタズタになって
くださいね？

桜…？
いや 彼女は今
僕たちの
前にいます
……は？
わたしが桜なのか
ですって……？
バカに
しないでください
頭のてっぺんから
つま先まで違います
このわたしが
あんな弱虫で
性格ブスなワケ
ないじゃない
ですか！

わたしは桜であって
桜でない存在
もう あんな管理ＡＩ
ではないんです

あ…

ああ…

わたしの
名前は ＢＢ（ビィビィ）

どうぞ
ビィビィちゃん！ って
呼んでくださいね！

この桜…… ＢＢと名乗った彼女が
幾人ものマスターを捕らえ
校舎をノイズで侵食し
凛をあんな目に遭わせた元凶――

まずいぞ
奏者
奴の気配は
管理ＡＩの
範疇を
超えている！

これは…

でもぉ……
センパイ？
せっかく
助けてあげたのに
どうしてわざわざ
出てくるんん
ですかぁ？

あの甘やかすだけの
いい子ちゃんの所で
ぬるぬるお気楽
ラブＡＮＤコメディな
生活でもしてれば
よかったのに

ムーンセルに近い気配……

……ふふ
なのに
出てきたって
ことはぁ

まだ お仕置きが
足りないって
ことですよね

セ・ン・パ・イ？

レオ

あなたそこで
観ているん
でしょう？
急いで転移を！
私がフォロー
するから早く！

わかりました
事情は後で
聞きましょう
スピード
優先です

はい！
生徒会の全リソース
強制退出に回します！

あら もう
お帰りですか？
判断は
大正解です

でも
ざーんねーん
保健室の桜ちゃんでは
全然
力になりません

……そんな ダメです

強制退出
できない…

先輩 っ！

退路がないなら
戦うしかあるまい

待ちなさい

そんな
疲れ切った状態で
戦える相手じゃ
ないわよ
アイツは！

わかってるの
アイツは128体のサーヴァント
そのほとんどを食べた怪物なのよ

サーヴァントを分解して
その記憶容量を取り込んで
今じゃもう手の付けられない
巨大構成体(キガストラクチャ)になった……

それがアイツ！

そうですよ

わたしの計算能力はSE.RA.PHの
書き換え可能域に達しています
世界のルールを左右できる存在です

だから――
ふふ ちょっと
可哀そうですから
センパイの
お手伝いを
してあげますね

その転移術式(プログラム)じゃ
サクラ迷宮の壁は
越えられませんから……
はい ふぅー です

貴方たちに
救いの道は
ありません
それでも わたしを
どうにかしたい
のなら……

そうですね
校舎に隠れている
人たちと一緒に
力を合わせて
頑張ってみて
ください

はら
「0.000001%の
確率に賭ける！」とか
いかにも
ゲームの醍醐味です

奏者

まあ それって
数学的には
ゼロと見なして
いいんですけど
ふふふ……

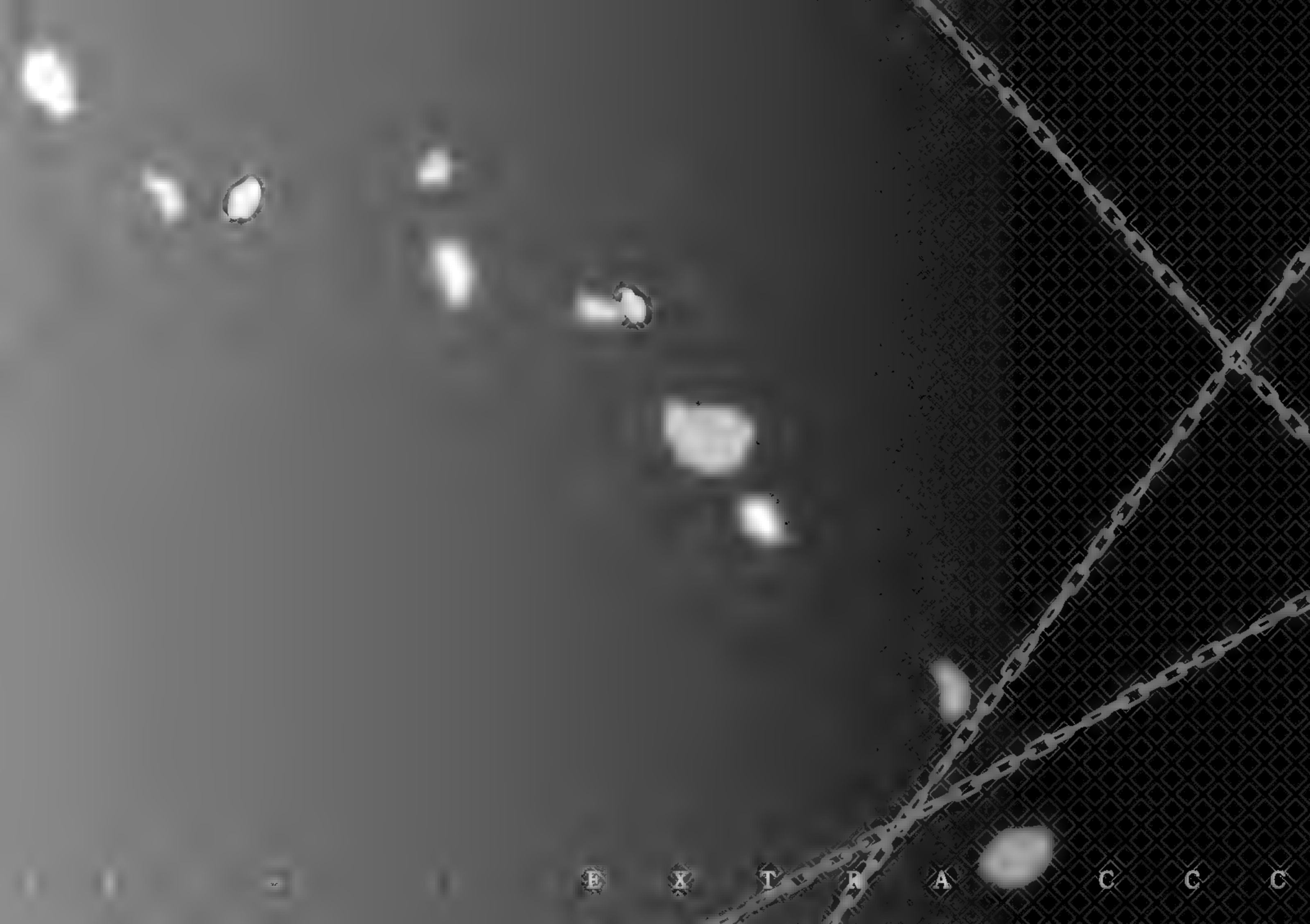
それじゃあ
ゲームを
始めましょう？
貴方たちは
無残な夜の
女王の囚人

ひとりひとり——
ゆっくり 確実に
終わりをあげます

期待していますよ センパイ
貴方は最後まで
生き残ってくださいね——？

そんな……

俺たちは
月の裏側に
閉じ込められたままなのか!?


EXTRACCC

これは白野が
月の裏側に落ちる
少し前の出来事

ここは…どこです?

ボクたちは先ほどまで
聖杯戦争のただ中に
いたはずですが

あの建物は…

敵の罠かも
しれん
警戒しろ
レオ

あれ?
あれ
おかしいな

生徒会室

ムーンセルと
連絡が取れない

生徒の皆さんの
安全を確認しなくては

ここにいる上級AIは
私だけなのに
しっかりしないと…

ガヤガヤ

ドドドドド

きゃーっ

安全を確認しました
レオ どうぞ

生徒会……
資料の中でしか見ることが
できなかった機関ですね

ここはその
司令室ですか

そこに備品もある
ここは本部に
使えそうだな

備品…!?

現時刻をもって
生徒会室は
ハーウェイ財閥が
占拠します

管理AI 事態の解析を
聖杯戦争は
どうなっているのです…？

さ 桜です
今 解析を
していますっ

保険医 早くしろ

桜です…！

名前で呼んで
ほしいなぁ…

月の裏側に落ちた…？

ボクたちがですか

はい レオさん同様
他の生徒の皆さんも
記憶を失って
この旧校舎で
目覚めています

表に繋がる
出口がなくて…
私たちは月の裏側に
幽閉されている状態
なんです

状況から察するに

聖杯戦争を妨害する
何者かによって
拉致されたとみて
いいだろう

なるほど
状況は理解しました
早急に表の世界に戻る手を
考えなくてはいけませんね

ライダー!!
どこだ〜

ところで

皆 記憶を失って
いるということは
以前の僕を知る人間は
少ないということですね

ああ
それがどうした?

これを機に
イメチェンしましょう

は?

ゴゴゴゴ

ボク一般の学園生活に
憧れてたんです

おはようございます!

グッモーニン!

おはよう・・・

ドドド

兄さん
声が小さいですよぉ!

レオめ
裏側に落ちた際に
頭を打ったわけでは
なさそうだな

ガウェイン卿…
貴殿まで
レオの戯れに
付き合わなくても

うーん
せっかくの学園生活なのに
食堂がありませんね ここ

兄さん
食事の手配を
お願いします

いいえ レオの命令は
サーヴァントの壁を越えて
私にとって絶対なのです

そのわりには
目が虚ろだぞ…
ガウェイン卿

ちなみに
この学生服を
揃えるのに
活動資金の半分を
使ったそうです

レオ…!
正気なだけに
始末が悪い

そうだ
カレーを食べてみたいな

カレー…?

俺は口にした経験が
ないのだが…

たべたいなあああー

わかった……善処する…

ボボボボ

ゴボッ ゴボッ

倉庫にあった香辛料を煮詰めてみたが……

色が少々ドス黒いが些末なことだ

レオもしばらくあの調子だし

キラッ

まったく この事態どう収拾をつけるというのだ……

ヒュウウ

何だ…

ドカ

ドカ

ドカ

なんと！

奏者！
すまぬ
手が滑ったぞ！

おや

わかりますか

コト…

まさか
こんな形で
彼に共闘を
持ちかけることに
なろうとは

しかしレオ
今のあなたは
うれしそうだ

レオさん
白野さんが
目を覚ましました…！

念願の
生徒会結成の
第一歩ですよ

フェイト／エクストラ CCC 連載予告

溺れる夜が 始まる――――

奏者

余の手を取れ！

TYPE-MOONエース VOL.10掲載告知漫画

TYPE-MOONエース VOL11掲載
告知漫画

はろccc ちゃん

ふふん
アイドルだって
仕事をサボりたく
なるわ

凛にバレないように
アタシの代わりを
ちゃんと
こなしなさいよ
子リス！

ええええ
ええええ

その為だけに
誘拐したの？

困ったな…
流石にこれは
バレるだろう

キリッ

順応している

ちょ…
待ちなさい！

即バレた

ランサー…
一日でそんなに
胸が成長するなんて

そんなに
ブラッドバスって
効き目あるの…？

バレて
なかった！

前作　Fate/EXTRAのコミカライズに続き
CCCの漫画も描かせて頂けることになりました

ろび～なです。

CCCといえばテーマは『少女情念』と
『エロス』…『エロス』ですよ!

カリギュラ叔父上の気持ちになって頑張ります。

special thanks:　貞松佳太　水田亮　nakane

Fate/EXTRA

フェイト/エクストラCCC

1

原作 TYPE-MOON／マーベラス

漫画 ろび～な

Kadokawa Comics A

KADOKAWA

角川コミックス・エース
フェイト/エクストラ CCC(1)

漫画 ろび～な
原作 TYPE－MOON／マーベラス

©Rob na 2016
©TYPE-MOON
©Marvelous Inc.

2016年4月26日　発行

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
角川コミックス・エース
『フェイト/エクストラ CCC(1)』
2016年4月26日初版発行

発行者　青柳昌行
発　行　株式会社KADOKAWA
http://www.kadokawa.co.jp/

〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3
電話　0570-002-301（カスタマーサポート・ナビダイヤル）
受付時間　9 00～17 00（土日 祝日 年末年始を除く）
編集企画　コミック＆キャラクター局
　　コンプティーク編集部

装丁・デザイン 福躍 惠（ARTEN）

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、
ホームページ上に転載したりすることを禁止します。
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本作品を第三者に譲渡することはできません。
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
本作品の内容は、底本発行時の取材・執筆内容に基づきます。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。

生意気そうな面しやがって

劇場
ろびーな
TYPE-MOON/マーベラス

Fate EXTRA CCC

フェイト／エクストラＣＣＣ

Garden 1 胡蝶の夢

来い！

セイバー!!!

ここがサクラ迷宮……

信号 確認しました
聞こえますか白野さん？
こちら生徒会室です

現在 こちらのリソースは
白野さんの電脳体の保護を
最優先に設定しています

映像（モニター） 計測（センサー）
ともに良好です

何しろ未知の領域ですから
常に白野さんをモニターしつつ
いざとなれば
こちらにログアウトさせる……

実際問題として
バックアップには
ボクと桜ふたりでも
足りないほどです

その手の
魔術師（ウィザード）スキルを
白野さんは
持っていないでしょう？

なる…

確かに……

けど アリーナの探索なら
力を失った俺たちより
レオとガウェインの方が
確実なんじゃないか？

確かにボクたちのステータスは
力も奪われず以前のまま……
そうしたいのは
山々なのですが

小生が行ってはいかんのか？

……
やめておけ

賓者
来たぞ

月の…女王？

正気か遠坂！

ふん そっちの考えもお見通しよ
月の裏側から唯一の出口である
出たいんでしょ？
だからこの迷宮にやって来た

でもざーんねん
ぜったいに
出してあげないから

これは防壁!?

この先に進ませない気か

スター☆？

材質はブラックアイス型…
防壁セキュリティレベルは……

サクラこれは何ですか？

あり得ません!!

計測不能……

カウントがオーバーしているんじゃなくて数値にすることができない

ムーンセルのライブラリにもない新種の防壁なんて……！